

ふくおか森林インストラクター会の「自然や森林の大切さを伝える普及活動」、「自然や森林の大切さを深く理解する自主活動」の紹介に始まり、2016年度は177行事3745名の方々に自然の中でさまざまな体験をして頂いたことを紹介された。続いて、森林インストラクター資格試験への受験者の減少や当会の活動人員も年間行事に対し少ないことの現状を訴え、当会への入会をPRされた。



本題では森林環境教育・小笹小学校でのモウソウチクを用いた箸作り、メダケでのブー笛作りでの子供達の反応や子供達の道具への対応状況、竹細工を通しての自然の大切さを教えたことなどを細かく説明された。最後のまとめでは竹林サミットのあることを踏まえ、ネイチャークラフトに於ける竹細工を用いたクラフトは木の実やどんぐりを利用するクラフトと違い、年中材料を確保できるため、もっと行事に取り込んでも良いのではとの話で締められた。